

ハート通信

今年、心臓血管外科が設立して十五周年を迎えました。年輪が何層にも重なりながら成長していくかのように、名古屋徳洲会総合病院 心臓血管外科も、大きく成長してきました。

編集・発行

名古屋徳洲会総合病院
心臓血管外科 術後の会
〒487-0013 春日井市高蔵寺町2-28-1
TEL:0568-51-8711
URL:<http://www.nagoya.tokushukai.or.jp>

◇CONTENTS◇

- 医師挨拶……………2～3
- 看護部挨拶……………4～5
- 心臓リハビリ……………6～7
- 術後体験記……………8～9
- 会員代表挨拶……………10



心臓血管外科部長
大橋 壮樹

01

心臓あるいは大血管の手術を受けられた皆様、お元気で暮らしていますでしょうか？

名古屋徳洲会総合病院の心臓血管外科も今年で十五年を迎えました。手術をして十年以上経過されている患者さんも多く見られます。手術後年数が経ちますと、手術した心臓の調子、置換した人工

弁、バイパスした血管が加齢とともに傷んでくる場合もあります。手術後取り替えた人工弁が十五年で異常を来したり、冠動脈バイパス術後の患者さんがその後弁膜症で再手術が必要になったり、動脈瘤の手術後の患者さんが他の部位に動脈瘤が再発したりすることが時々あります。心臓血管手術は手術から回復するだけではなく、手術で修復した心臓あるいは血管がいつまでも長持ちしていただかなくてはなりません。手術後の患者さんのチェックをすることは外科医として義務であり今後の治療の参考になると考えています。当院では、心臓手術後お元気な場合でもなるべく一年に一回は当院に来ていただくようにしております。かかりつけのクリニック、病院があるとは思いますが、当院での一年に一回の定期検診はいつでも受け付けておりますので、病院にお電話して予約をとっていただければ喜んで見させていただけます。

心臓手術を受けるといふ決断をされ、そして手術の合併症と戦いお元気になるための皆様方におきましては、ますます元気で人生を楽しんでいただくことを願っています。

昨年の秋は琵琶湖のふもとで温泉、景色そしてお食事を皆さまと楽しむこと



心臓血管外科医師
景山 聡一郎

02

ができました。多くの患者さん、ご家族様とお話をさせていただき、またお元気の姿を見せていただきありがとうございます。今年も十月六日に下呂温泉で皆様のお元気の姿を見せていただければと私たち職員一同楽しみにしております。

この十五年で心臓血管外科の分野でも著しい進歩がありました。動脈瘤に対するカテーテルで行うステントグラフト、心臓手術に対する小さな傷口での手術(MICS)、そして植込み型補助人工心臓手術があります。手術技術の向上のための手術器具、材料等も数多く出現し、手術成績の改善が見られました。しかし、過去に最新の治療と言われたものが現在では行われていないということもよくあります。現場で診療している私にとっては最新でかつ最良の医療を提供できるように頑張っています。今後ともよろしく願っています。

平素より大変お世話になります。

私が名古屋徳洲会総合病院に赴任して、今年で七年目を迎えます。この間には、本当に数多くの患者さんの治療にたずさわることが出来ました。我々、外科医にとつて、手術をさせていただきました患者さんのお元気の姿を、その後、外来で見ることが出来るのが何よりも喜びと言えますが、術後何年も経って、普段はお近くの開業医の先生や紹介元の病院に通院されている患者さんが、半年や一年ぶりに外来に来られ、変わらぬお元気の姿を見せて下さることは、何よりも励みになっております。

医学の進歩は早く、心臓血管外科の分野でもこの数年間で新たな治療がどんどん生まれてきております。以前は治療出来なかった患者さんがお元気に自宅に退院出来るようになることもめずらしくありません。特に今年には、植え込み型人工心臓という東海三県では最初の手術を当院でさせていただき、その患者さんも非常に順調に経過されている様子を見ますと、もっともっと多くの困っている患者さんの力になればという思いが強くなります。

われわれ、名古屋徳洲会総合病院心臓血管外科はこれからも地域の皆様のお力になれるよう精一杯の診療をさせていただきます。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。



心臓血管外科医師
古井 雅人

03

『大丈夫ですか？』
『もう少しで病院に着きますからね！』
当院へ戻る救急車内で、患者さんに声をかけ(何とかしたい。いや、しなければ！...)そんな思いを一層強くしながら、手術室へ直行する。

当科ではそんな緊迫した場面も多く、日中・夜間を問わず対応させていただいております。気の抜けない日々は続きませんが、手術が無事終了した時や急性期を乗り越え回復される姿を見るのは一医師としての喜びを感じるとともに、心臓血管外科医としてのやりがいを感じる瞬間でもあります。

当院ではお迎えシステムを取り入れており、救急疾患では紹介先へ行き、患者さんおよび画像など検査データを確認することで速やかな方針決定および手術治療への移行に役立てております。容体が不安定な場合などは、紹介先の先生が送って下さることもありますが、いずれ

にしても地域の先生方と連携を取り、患者さんの治療に対して何ができるか、何が安全かを考えながら対応させて頂いております。

当院は二〇一二年に重症心不全症例に対しての植え込み型補助人工心臓の認定施設となり、二〇一三年には植え込み型補助人工心臓の手術も無事施行し、植え込みをした患者さんは順調に回復をしております。補助人工心臓のように、今後当院で対応できることの幅を広げ、治療の選択肢も増やせていければ、更に患者さんのお力になれると思います、日々研鑽しております。

少しでも地域の皆様のお役にたてるよう尽力していきますので、今後ともよろしくお願い致します。



心臓血管外科研修医 04
小谷 典子

平素より大変お世話になっております。名古屋徳洲会総合病院心臓血管外科

研修医の小谷典子です。心臓血管外科を学ぶ事を目的に当院で勤務を始めてから、指導医の先生方と一緒に診察治療に携わらせて頂き、新しい事を学ぶ一方で自分の未熟さに恥じる日々です。その中で、大きな手術や治療を乗り越え、退院目指してリハビリに励む患者さんの姿はとも力強く、大変元気をいただいております。その元気を糧に、今後の成長に繋げて行きたいと思っております。

名古屋徳洲会総合病院

看護部

『医師には言えない一言も、看護師さんになら言える』

患者さんと向き合い、一番多くの時間を患者さんと共に過ごす看護師だからこそできることがある。一人ひとりの「心に届く看護」を目指し、当院の看護師は今日も働いています。



手術室
看護師一同

01

手術室看護師一同です。
心臓の手術を受けられた皆様、お元気でいらっしゃいますでしょうか。

私たち手術室看護師は、「手術」を前にして恐怖と緊張状態にある患者さんと同じ目線で向き合い、そして手術に関わるスタッフとのチームワークを十分に取るながら、心臓血管外科の患者さんを迎え入れ、手術が滞りなく安全に終了し、お元気になって頂くことを第一に考えて仕事に取り組んでおります。

手術室の看護師は患者さんにお会いする時間がとても短く、『具合は良くなりましたか？』『あの時の患者さんは、無事に退院されたのかな？』などいつも思っています。そんな時に心臓血管外科の医師や看護師から、患者さんがお元気で退院されたことや、経過が順調なことを耳にすると、と

ても嬉しくて、患者さんの回復が私たちの支えとなっていることを痛感し、たくさん患者さんに感謝の気持ちでいっぱいです。看護師一人ひとりの成長は患者さんのおかげです。

また、ご高齢の方に対する手術適応が拡大し、超高齢社会へと変化している中で今後更にご高齢の方の手術が増加することが予測されます。平成二十四年一月～十二月までの当院心臓血管外科手術件数三三三件中、手術をされた患者さんの年齢は、六十五歳～七十四歳が二三四名(四十一%)、七十五歳以上は一七二名(五十三%)という結果でした。

今後も地域の皆さまのご健康とご活躍にお応えできるように、最高の看護と医療の提供ができるように頑張っております。



ICU
看護師一同

02

ICU看護師一同です。

二〇一三年のICU入室患者総数は五五五名で、その内心臓血管外科疾患の方は三三二名の方が、ICUを利用していただきました。

ICUでは、緊急および重篤な患者さんを安全で質の高い看護が提供できるよう、二〇一二年五月にHCU加算を、また、二〇一三年五月からはICU加算の施設基準を取得致しました。

ICUの入室対象となる方は、大手術や、緊急で重篤であり、かつ遠方からのご紹介の方も多く、知らない土地(病院)で不安を抱える事が少なくないのではないのでしょうか？

そこで、ICUでは、術前とICU退出後に、看護師が病室訪問をさせていただき、絵を用いて具体的な術後の状態や、ICUでの様子、スタッフとの関わりなどを説明させていただく事で、患者さんの不安や疑問にお答えできる場を設けさせていただいています。

ICUに滞在していただく期間は、平均三、五日ととても短いのですが、スタッフ一同良くなられる事を心より願いながら、皆様に接しております。配慮がいき届かない事もあるかと思いますが、ICU退出後の訪問時には、是非、忌憚の無いご意見をお待ちしております。

最後に、名古屋徳洲会総合病院では、二〇一二年一月に、植え込み型補助人工心臓治療施設に認定され、今後も重症心不全の方が増加する事が予想されます。適切な看護が提供できるよう、今後も日々研鑽してまいります。



2階病棟
看護師一同

03

二階病棟看護師一同です。

手術を受けられた患者さんが、回復されるまでのリハビリテーションや退院までの援助をさせていただき、喜びを感じています。

今年、当院で新たに補助人工心臓の植え込み術が開始されており、新しく高度な治療を受けていただけるようになりました。私たち病棟看護師は、特別なトレーニングを受け自信を持って患者さんの看護をさせていただきます。

また、平成二十五年三月より病院全体でパートナーシップナーシングという看護方式を取り入れ、患者さんへ、きめ細かいケアや高度な技術を提供できるように、二名の看護師で一名の患者さんの観察や日常生活のお手伝いをしています。



外来
看護師一同

04

治療が安心して受けられるのはもちろんのこと、日頃の患者さんとのコミュニケーションを大切にしたいと思っています。そして、入院中の不安や悩み疑問などが解消できるように、患者さんや家族の方への声かけを心がけています。

患者さんとの会話の中では、家事や農作業の知恵・政治に関する事柄などの内容もあり、勉強させていただき、また私たちが励まされるような場面もたくさんあります。

さらに、皆様からの温かいお手紙なども、とてもうれしく読ませていただいたり、術後の会では、見違えるほど元気になられた姿に感動しています。手術をされた患者さんの勇気とあたたかさに敬意を払い、私たちも研鑽してまいりたいと思います。

外来看護師一同です。

外来では、患者さんや、医師、コメディカルのスタッフに支えられながら日々業務を行っております。

外来では、たくさんの方とふれあうことができます。短時間のふれあいですが、一期一会を大切にしております。

外来での心臓血管外科は手術前の検査を受けにいらっしゃる方や、手術を終えられて退院後、定期的な診察で来院されている方、紹介で遠方からいらっしゃる方など様々ですが、外来通院されている方々は、毎回早くから来院され待つていらっしゃると思います。

現在、当院の外来では、待ち時間が長く皆様にご迷惑をおかけいたしておりますが、スタッフ共々、待ち時間の短縮にむけて対策を立てております。少しでも待ち時間が短くできるように、また待ち時間の工夫をして、皆様にとって安全にスムーズに受診が出来るよう、スタッフ共々頑張っていきたいと思っております。皆様のご意見は、私どもの成長へと繋がることと考えております。いつでもお申し付けください。

今後ともよろしくお願ひ致します。